

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	開所して10年が経ち、開所当時の理念を事業所サービスの基本としてきたが、地域密着型サービスの事業所としての役割(地域貢献・地域連携ほか)の文言が入っておらず、入居者ニーズへの具体的なサービス内容が明確化されていない。	・事業所理念及びユニット理念を刷新し、事業所サービスの内容をより具現化することにより、事業所のサービス提供の基本を明確にしサービスの質・向上を図る。 ・各ユニットの問題点を把握し理念に取り入れることで職員が同じ認識をもちサービスの提供に取り組むみ統一したサービスの提供とする。	・事業所としての理念を決める。(地域密着型の事業所としての役割と事業所サービスの基盤とする) ・各ユニットでの理念を決める。(ユニット入居者及び家族のニーズを主体とする)理念を事業所及びユニット職員として実践していく。	3 か月
2	12	・入居者の重症化が進む中、事業所ハード面は改善されていない。又、協力医や各入居者主治医・家族と終末期における方針などが話しあわれていない。 ・看取りケアを実施できるまでの経験者が少なく、介護の技術・知識及び医療知識を身につける必要がある。 ・阿南市共栄・中央病院統合により病床が174床減となり高齢者の入院確保が困難となり事業所定費になる可能性が大きい(平成30年1月開院)	・平成30年1月の阿南中央医療センター(仮称)開院を目処に、事業所で看取りケアが実施可能とできるよう協力医院・入居者個々の主治医・家族の協力態勢を図る。 ・これまでの職員の認識を変え、看取りケアに取り組める環境を整えて行く。	・事業所の協力医院及び入居者個々の主治医へのアプローチを行う(事業所看取りケアへの協力態勢を依頼) ・職員の技術・知識向上の為の事業所内研修の実施と事業所外研修の参加及び資格取得をし看取りケアに活かす。 ・看取りケアに適した環境整備をしていく。	6 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。